

# 健康ほくほく通信

圃 保健介護課 包括支援センター 内線3122

## No.31 ~歳をとっても住み慣れた地域で、この家で暮らしたい お互いさまの心、ちょっとだけ地域を支える私の手~

「生活支援体制整備事業」という言葉を聞いたことはありますか？これは、高齢になって介護や支援が必要になっても、住み慣れた地域で安心した生活を送ることができるよう、「生活支援コーディネーター」が地域の住民や各種団体などと連携して「協議体」を結成し、地域でできることを考えていく住民主体の支え合いの体制づくりのことでです。

今後、団塊の世代が75歳以上となる2025年から高齢者人口がピークに達する2040年に向け、高齢者のみの世帯や認知症高齢者が増加すると考えられています。それに伴い、高齢者が生活を送っていくうえでの要望も急増すると予測されており、地域での支え合いが今まで以上に必要になります。

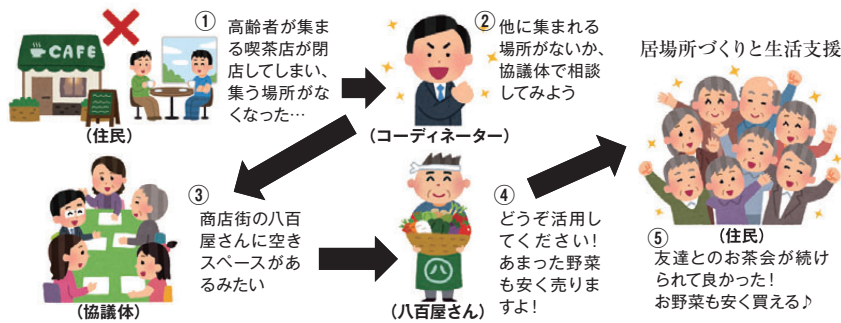
地域の支え合い活動は、誰でも、いつからでも始めることができます。身近な人や地域の仲間に、あなたの思いを伝えてみませんか？まずは、気軽に生活支援コーディネーターへご相談ください。

### ●協議体とは？

地域に支え合いの輪を広げていくために、地域住民同士で話し合う場です。

### ●生活支援コーディネーターとは？

地域に出向いて住民の声を聴き、困りごとや解決策を考えたり、関係する団体や企業とマッチングさせるなど、地域づくりを一緒に支える人のことです。



## 北宇和病院 だより



### 新型コロナウイルス感染症の現状

鬼北町においても8月から9月にかけて、介護施設や児童施設を中心に大規模な新型コロナウイルス感染症の集団発生を認めました。幸い、大多数の患者さんで重症化することはありませんでしたが、当院でも発熱外来対応等のために人的負荷、医療ひっ迫をきたし、一部の検査入院や緊急性の少ない手術の延期など、皆様にご不便をおかけすることとなりました。

当院の4月から9月20日までの集計では、抗原検査、PCR検査合わせて延べ669検査を行い、陽性は255件でした。軽症の方がほとんどで、専用の抗ウイルス薬を投与した症例は3件のみでした。

10月からはオミクロン株対応のワクチン接種も開始され、爆発的な患者発生は抑制されていますが、気を許すことなく引き続き感染予防行動にご留意ください。

### 編集後記

▼泉小学校の「ぶどう収穫祭」に初めてお邪魔しました。たわわに実ったぶどうが、大人の身長よりも低い位置まで垂れ下がったハウスの中で、しやがみ込んで一生懸命に写真を撮っていた。そこへ「ぶどうぞー！」と児童からお裾分けのぶどうが手渡され、疲れも吹き飛ばす程のうれしい気持ちになりました(輝)

### 今月の一枚



実りの秋を迎え、農作物を狙って畑に頻繁に出没するようになった。イノシシやシカなどの野生動物たち。有害鳥獣の捕獲許可を受け、猟友会の方が、わなや猟銃で捕獲し、役場に持ち込む姿をよく見かけます。捕獲すれば報酬金が出たり、捕獲した鳥獣を処分する「減容化施設」が今年6月から稼働を始めるなど、鳥獣被害防止の取り組みが加速しています。

鳥獣被害が増えてきたのは、人と里山の関わり方が変わったことなど、人間社会の変化が原因と言われています。人も獣たちも、共に豊かに暮らすことのできる社会にならばいいなと思います。